

科目名	グローバル時代の文学			授業形態	開講期間	金沢大学で確認			
	英文科目名	Literature in Globalization		①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信 —	開講時間	金沢大学で確認			
受講定員等	担当教員	佐藤 文彦		成績評価の方法	開講場所	金沢大学で確認			
	単位数	1単位			成績評価の方法	授業には3分の2以上の出席を必要とする。S (達成度90%~100%), A (同80%~90%未満), B (同70%~80%未満), C (同60%~70%未満)を合格とし, 以下を不合格とする。不可(達成度60%未満)。具体的な評価の方法(試験の形式など)は第1回の講義時に指示をする。			
定員数	50名								
特別聴講学生等定員									
科目等履修生定員									
シティカレッジ聴講生定員									
定員超過時の選考方法等	受付順								
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)		
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:		受講料		
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	教員の指示に従う
					9,800円	28,200円	29,600円		
科目の内容	この授業では実際に文学体験をしてもらいます。その実際のな体験に基づき、文学作品の読み方、文学作品の向こう側にある社会・文化・思想といった「文脈」を読み解くことの重要性を学びます。予習では、世界各地の日本語、英語、フランス語、中国語による文学作品から選定された短編(翻訳)を読み、教科書を用いて各作品の読み方や作品を囲む文化・社会・思想的な背景についてのイメージを掴んでおいてください(授業における理解度を高め、また、ディスカッションの質を向上させるため、予習には少なくとも2時間以上を充てること)。授業では、各作品の読み方・解釈についての確認と補足的な説明を教員が行います。また、グループ・ディスカッションなどのアクティブラーニングを通じて、それぞれの作品の読みを深めてもらいます。						その他特記事項		
	第1回 「グローバル時代の文学」序論 第2回 中国語文学 第3回 フランス語文学 第4回 英語文学(イギリス) 第5回 英語文学(アメリカ) 第6回 日本語文学 第7回 予備日(いずれかの地域についての補足) 第8回 総論・全体ディスカッション (なお、上記スケジュールは日程が変更される場合があります。ガイダンスの時の指示に従ってください。)						オリジナルテキスト・授業用資料を金沢大学生協から購入するか、以下のURLにアクセスし、この授業に該当するリンク先からテキスト・授業用資料をダウンロードもしくは印刷して必ず授業時に持参すること。 <a href="http://ilas.w3.kanazawa-u.ac.jp/students/subject/gs/gs_text/">http://ilas.w3.kanazawa-u.ac.jp/students/subject/gs/gs_text/</a> ※リンク先へのアクセスには、「金沢大学ID」が必要です。基礎教育学務係に申し出ること。		
授業担当教員紹介			URL						
ホームページ・メールアドレス等			E-mail nueda@staff.kanazawa-u.ac.jp						